

リトテ支那ノ混沌タル現状ヲ述ヘタル上米國ハ成ルヘク速ニ治外法権ノ撤廢ニ賛スルモノナルモ現今ニ於テハ支那ヲシテ外國人ノ生命財産等ノ保護ニ對スル全責任ヲ取ラシムルニハ時期未タ確カニ尚早ナリ

尚真正ノ解決ハ外部ヨリ来ラスシテ寧ロ内部ヨリ来ルヘキモノナリ云々ト論シ

紐育「サン」モ治外法権委員会ノ發見セル所ハ予期セラレタル通りニシテ諸外國カ自國民ノ生命、利益及法律上ノ權利ヲ支那裁判所ニ託シ得ル時機ハ尚未タ到達シ居ラス又委員會報告書ハ支那ニ其ノ求メ居リタル機會ヲ与フルモノニシテ支那ハ自ラ統治スルノ能力ヲ有スルコトヲ証明スルニヨリテ外國ノ干涉ヨリ脱スル機會ヲ有スルナリト論シ更ニ「ニューヨーク、ジャーナル、オブ、コムマース」ハ治外法権委員会カ治外法権ヲ漸進的ニ撤廢スヘシトセル提議ヲ是認スルト共ニ委員會ノ發見セル所ハ結局治外法権撤廢ニ對スル支那ノ要求ヲ直截ニ拒絕セルニ等シキモノナリ蓋シ付帶條件ハ將來多年ニ涉リ到底實現不可能ナレハナリトテ稍悲觀的論調ヲ取り費府「レッジャー」モ治外法権委員會ノ勸奨ハ支那側ニ於テ一定ノ措置ヲ執ルコトヲ基礎条

件トスルモノニシテ而カモ支那ニ於テハ列國ヨリ要求セラレタル措置ヲ執リ得ルモノナキヲ以テ結局列國側ノ確定政策ノ採用モ其ノ儘ニ放置セラルヘク報告書ハ何等ノ回答ヲ提示セス謎ハ依然トシテ殘存セリト論シ

其他費府「インクワイアラ」モ報告書ハ米國ニ於ケル感情ト全然一致セルコト疑ノ余地ナシト論シ

諸新聞ノ論調ハ何レモ大体ニ於テ治外法権委員会報告書及其ノ勸奨ニ對シテハ一般的ニ贊成ノ態度ヲ示シ居レルカ紐育「ウォールド」ノミハ少シク論調ヲ異ニシ治外法権委員會ノ報告書ニ大体賛意ヲ表スルト同時ニ同報告書ヲシテ支那ニ於テ重キヲ為サシムルニハ列國ニ於テ迅速ナル措置ヲ必要トス之カ為ニハ二様ノ措置ヲ執リ得ヘク又執ルヘキナリ即チ第一ニハ治外法権ノ漸進的撤廢ニ對スル協定の協定ニ関シ各國ハ本件委員會代表ノ提議ヲ採用スヘク第二ニ一年前ニ支那ニ拒絕シタル關稅收入ノ支配權許与拒絕ヲ再考スヘキコト是ナリ支那ノ獨立國タルヲ認メナカラ何レノ獨立國モ有スル關稅自主權ヲ支那ニ拒絕スルハ不合理ナリ今ヤ支那ニ排外的感情蜂起シツツアリ而シテ之ヲ緩和スルノ得策ナルコトニ付テハ疑ノ余地ナキカ吾人ハ迅速且寛大ナ

ル措置ニヨリテノミ之ヲ緩和シ得ヘキヲ信スルモノナリト論シ支那ニ同情的態度ニ出ツヘキヲ主張シ居レリ
(省略)
右御參考迄ニ新聞切抜添付報告ス

付 上海会審衙門還付交渉

八五八 一月二十九日(着)

在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海会審衙門及工部局中国人代表両問題交

涉方ニツキ外交団會議開催ノ件

第六一号

一月二十八日外交団會議開催

首席公使ヨリ上海会審衙門及工部局ニ於ケル支那人代表問題ニ付テハ予テ外交団ニテ研究ヲ遂ケ支那政府トモ往復ノ次第アリタル処最近外交部員來訪種々打合せノ上外交団及外交部双方ヨリ委員ヲ出シテ交渉スルコトニ話ヲ纏メタル旨披露アリタルニ各公使何レモ委員ヲ出スコトニ異存ナク客年会審衙門問題ニ付外交団ヨリ任命シタル特別委員(客年往電第四四六号)ヲ以テ本件支那側トノ右交渉委員

七 中国治外法権委員会會議關係 八五八 八五九

ニ当ラシムルコトトシ先ツ会審衙門問題解決ノ上工部局ニ於ケル支那人代表ノ問題ヲモ交渉セシムルコトニ決定シ右交渉ニ當リテハ会審衙門ノ問題ニ付テハ前記特別委員ノ報告(客年七月四日付機密第三〇九号往信参照)ヲ又工部局問題ニ付テモ外交団ニ於テ意見ヲ交換シタル所(客年往電第九二一号及第九六二号等参照)ヲ基礎トセシメ客年十一月二十八日付支那側提案(十二月四日付機密往信第六八一号付属)ハ之ヲ考量セシメサルコト(現外交總長ニ於テハ之ヲ「イグノア」スルコトニ異存ナキ由)トシタリ

右會議ノ意見交換中伊國公使ハ会審衙門問題ハ治外法権委員會ニ於テモ討議セラルヘキモノト認ムル旨ヲ述ヘタルニ米國公使ハ同委員會ノ「スコープ」ヲ廣クスルカ如キ印象ヲ与フルコトハ面白カラサル旨開陳シタルカ本使ハ本問題亦法権委員會ノ議ニ上ルコトモアルヘキ旨付言シ置キタリ上海ヘ転電セリ

八五九 二月十日

在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海会審衙門回收ニ関スル中国側要求諸点ニ
ツキ報告ノ件

九九三

第八〇号

(二月十一日接受)

往電第六一号ニ関シ

本月四日外交部ニ於テ双方交渉委員ノ会合ヲ開キタルニ支那側委員ハ十一月二十五日ノ提案(十二月四日付往信第六八一号付属)ヲ基礎トシテ討議スヘキ訓令ヲ受ケ居ル旨ヲ主張シ外交団側委員ハソノ諒解ト反スル所以ヲ述ヘタルモ支那側委員ソノ主張ヲ枉ケス依而討議ニ入ル能ハスシテ散会シタルカソノ後和蘭公使及外交総長話シ合ヒノ結果双方共別ニ基礎ヲ定メス新ナル提案ヲ以テ討議ヲ始ムル事トシ外交団側委員カ既ニ与ヘラレタル権限(往電第六一号外交団決議)外ニ出スル問題ハソノ都度外交団ニ報告シテ訓令ヲ仰ク事トナリタル趣ナリシヲ以テ二月八日再ヒ會議ヲ開キタルニ支那側ハ新提議ト称シテ内容全然十一月二十五日ノ「ノート」ト同一ナル文書ヲ提出シテ詳細説明スル処有リタルカ外交団側委員ハソノ討議ノ権限外ニ且ル問題多キヲ以テ之ヲ公使會議ニ報告シタル後更ニ会合スヘキ旨ヲ述ヘ引キ取り右支那側ノ説明ニ基キ左記支那側要求諸点ニ付キ外交団ノ訓令ヲ仰ク事トナリタリ

(一)共同租界内ニ支那警察法規ノ適用スル事ヲ認ムル事

テ召喚、逮捕、令状執行等ヲ行ハシメ同時ニ是等事務遂行ニ関シ工部局警察ノ援助ヲ求ムルノ権限ヲ有スルコト

(二)外国弁護士ハ自国人繋争ノ事件ノ外 Court of Justice ニ出廷スルヲ得ス又弁護人ニ関スル支那法令ニ従フコト

(三)共同租界内 Court of Justice ニ於テ現行一切ノ支那法令適用ヲ認ムルコト

右ニ付米國委員ハ大体ノ方針トシテ条約上ノ權利ヲ留保シ(第七ノ会審權ヲ認ムル等)同時ニ会審衙門ノ established practice 及会審規定ヲ尊重(第三参照)スルニ於テハ一九一一年以前ノ状態ニ復歸スルコトヲ認メ此ノ方針ニ準シ其ノ他ノ点ヲ「アジャスト」シタキ意向ニシテ我方ニ於テモ治外法権委員會ニ對スル御方針ヨリ見テ大体右米國側意向ニ賛成シ差支無シト認メラルル処御意見モアラハ至急御回示アリタシ

上海へ転電セリ

八六〇 二月十三日

幣原外務大臣ヨリ
在中国芳沢公使宛(電報)

上海会審衙門問題ニ関スル当面ノ措置振りニ
ツキ訓令ノ件

七 中国治外法権委員会會議關係 八六〇 八六一

(二)現在支那判事一名ナルニ反シ重大事件ニハ一名以上ノ判事出席ヲ認ムル事

(三)会審衙門ノ会審規定全部ヲ廢止シ一般支那法廷ニ於ケル手續ヲ適用スル事

(四)外国会審官ノ会審權ヲ改メテ單ニ觀審ニ止ムル事

(五)会審衙門ヲ廢シ支那法令ニ拠リテ弁理セラルル裁判所(Court of Justice)ヲ設ケ治外法権國民審判ノ為同裁判所ニ特別廷(Special Court)及特別上訴廷(Special Court of Appeal)ヲ設クルコト

(六)上訴廷ハ從來交渉員ト總領事ヲ以テ構成シタルニ反シ支那判事ト外国会審官各一名ヲ以テ組織スルコト

(七)刑事事件ニ對シテハ外国会審官出席ヲ認メサルコト

(八)支那人以外ノ國人カ被告タル一切ノ審判ニ當リテハ仮令治外法権國人カ原告タリ若ハ利害關係ヲ有スル場合ト雖外國会審官ノ出席ヲ認メサルコト

(九)治外法権國人原告タル場合訴ヲ前記 Court of Justice ニ提起スルヤ或ハ会審官ヲ有スル Special Court ニ出訴スルヤハ其ノ選択ニ任スルコト

(十) Court of Justice ハ其ノ所屬ノ執達吏及司法警察ヲ以

第三六号

貴電第八〇号ニ関シ

本件ハ一九一三年三月公使團決議(同年在支公使發機密公第四〇二号)ノ次第モアリ治外法権委員會開催中ノ此際治外法権ニ関スル他ノ問題ト併セテ全般的ニ同委員會ヲシテ審議セシムルヲ適當ト認ムルニ付夫迄ノ暫行措置トシテ一九一一年以前ノ状態ニ復歸セシムルニ止メ度尚ホ日置委員ト御打合ノ上必要アラハ右ハ我方ニ於テ同問題ノ解決ヲ回避セムトスルノ趣意ニ非サルハ勿論却テ其ノ根本的解決ヲ期スル次第ナル旨ヲ可然支那側ニ徹底セシメラレ度シ

八六一 五月二十二日

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海会審衙門回收問題ニ関シ丁松滬商埠局督
弁ト日英米三国領事意見交換ノ件

第一三三号

五月十九日英國總領事本官ヲ來訪シ淞滬商埠總弁丁文江ヨリ会審衙門回收問題ニ付非公式ニ日英米三国總領事ト意見ヲ交換シタシトノ申出テニ接シタルカ自分ハ異存無キ処米國總領事モ英國總領事ニ於テ異議無ク且支那側ニテ五三十

事件一周年ニ引掛ケテ宣伝ニ利用スル虞無クハ出席スヘシトノコトナリト語リタルニ付本官ハ本件ハ十余年来ノ懸案ニテ工部局改組問題ノ如キ純然タル政治問題ト異ナルヲ以テ孫伝芳カ如何ナル考案ヲ以テ地方的ニ本件ヲ解決セントスルカヲ知ルコトハ有意義ナルヘシト答ヘ結局二十一日交渉署ニ会合シタルカ丁ハ先ツ千九百二十四年ノ支那側對案ヲ基礎トシテ討議シタシト述ヘ孫伝芳ノ最重キヲ置クハ支那人間ノ刑事問題ニ会審官ヲ立会ハス点ニアリ此ノ点列国側ニテ譲歩ノ意向無クハ交渉無益ナリト断言シ何故ニ列国カスル要求ヲ固執スルカ其ノ底意ハ何処ニ在リヤト突込ミ英国總領事ハ支那裁判官カ他ノ勢力ニ依リ「インフルエンス」サレストノ確信ヲ有セサルカ為ナリト答ヘタルニ丁ハ信用シ難キハ却テ会審官ナラスヤト反駁シ丁「バートン」間ニ忌憚無キ意見ノ交換ヲ為スコト三時間余ニ亘リ結局二十五日再開ヲ約シテ散会セリ

在支公使ヘ転電セリ

八六二 五月二十六日

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海会審衙門回收交渉ノ際根拠トスベキ中国

スルニ決シタル件

第三七七号

五月二十七日外交団會議開催

首席公使ヨリ会審衙門還付ニ関シ最近三回ノ会商ヲ回覽ニ供シタル処第一回ノ分ニ對シテハ米国公使ニ於テ第二回ノ分ニ對シテハ英國公使ニ於テ目下上海ニ於テ交渉員ト二三ノ外国總領事トノ間ニ非公式會談開カレタル事実ト北京ニ於ケル交渉力停頓ニ陥リタル事実(委細郵報)トニ顧ミ上海ニ於テ交渉ヲ進行セシムルコト得策ナルヘキ旨ノ趣旨ニテ夫々意見ノ付記アリタル次第ヲ披露シタルニ付本使ハ本使ニ於テモ本日同様ノ意見ヲ陳述スル所存ナリシ旨ヲ告ケ從テ英米公使ノ意見ニ同感ナル旨ヲ述ヘタル処他ノ各国公使モ同感ノ意ヲ表シ種々意見交換ノ結果首席公使ヨリ上海首席領事ニ對シ一九二四年ノ公文ノ基礎ニ於テ交渉員ト商議ヲ開催シ且ツ上海領事團ノ名ニ於テ交渉ヲ行フコト協定基礎成立ノ上ハ之ヲ上海ニ於テ發表スルコト協定成立ノ上ハ之ヲ北京ニ報告シテ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ電訓スルコトニ決定シタリ尚ホ米国公使ノ提議ニ基キ(外交団委員ノ首席タル「ベック」ノ意見ナル由)丁文江ハ會審會ニ不同

七 中国治外法権委員会會議關係 八六四

側提案ニツキ回電ノ件

第一三四号

(五月二十七日接受)

貴電第八〇号ニ関シ(上海会審衙門回收問題)

当館ノ記録ニハ貴電御来示ノ如キ事実見当ラサルノミナラス却テ本年三月二十六日付在支公使發閣下宛機密第三五五号添付外交団回章ニ依レハ二月四日ノ王正廷、首席公使等ノ会見ニ於テ一九二五年十一月二十五日付支那政府提案ハ交渉ノ基礎トセサルコトニ決定セル旨記載シアリ為念英米両總領事ニ開合セタル処本官ト全然同様ノ見解ヲ持シ居レリトノコトナリ

尚二十五日ノ会見ニ於テ丁文江ハ支那政府トノ間ニ如何ナル交渉経緯アルヤハ問フ処ニ非ス孫伝芳ハ一九二四年ノ支那側提案ヲ便宜上交渉ノ基礎トシテ採用シタル迄ニテ全然新シキ交渉ト了解アリタシト言明セリ

在支公使ヘ転電セリ

八六三 五月二十八日

在中国芳沢公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

外交団會議ニ於テ上海会審衙門還付問題ニツキ上海領事團ノ名ニ於テ交渉ヲ行フヨウ電訓

意ヲ唱ヘ居ル趣ナルニ付支那側ニ於テ會審會廢止ヲ固執スルニ於テハ「ミニニシパルアツトニー」ナルモノヲ任命シテ會審セシムヘキ旨米國總領事ヨリ領事團ニ發議セシムルコトヲ首席領事ニ對スル電訓中ニ追加スルコトナリタリ上海ヘ転電セリ

八六四 五月二十九日

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

會審衙門還付問題ニ関シ丁文江等トノ交渉ニツキ報告ノ件

第一四〇号

(五月三十日接受)

往電第一三六号ニ関シ

二十八日英米三国總領事會合米國總領事ヨリ首席公使發首席領事宛二十七日電訓(在支公使發閣下宛第三七七号ト同趣旨)ヲ披露シ午後ノ會合ニ於ケル打合セヲナシタル後丁文江等ト會見ス米國領事先ツ同日ノ「チャイナ、プレス」ニ我等ノ非公式意見交換會ニ関シ出席者顔触議事ノ内容等ニ亘リ具體的記事ヲ掲ケ右ハ正式交渉ナリト記載シアリ旨ヲ指摘シテ注意ヲ喚起シタルニ丁ハ勿論交渉員モ何等関知スル所ナシト否認セリ統テ英國總領事ヨリ registrar

ノ職權ニ関シ記述シタル報告ヲ丁ニ手交シ議事ニ入りタルカ丁ハ依然トシテ刑事事件ニ対スル会審官ノ廃止ニ付三国總領事ノ實質ヲ迫リ英米兩總領事ハ先ツ右ニ換ルヘキ保障ニ関シ丁ヲシテ何等「コンミット」セシメント試ミ議論感情的トナリ長時間討論シタルモ結局何等纏ル処ナク散会セリ帰途自動車内ニテ米國總領事ハ本官ニ対シ某支那人ヨリ丁文江カ孫伝芳ヨリ受取リタル訓令中ノ最後ノ妥協点ニ付内密ニ報告シタルカ丁カ未タ懸引ヲ止メサルハ遺憾ナリト私語セリ尚六月一日領事會議開催サルルニ付首席領事タル米國總領事ヨリ前掲公使ノ電訓ニ付討議スル答在支公使ニ転電セリ

八六五 六月十日 在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海會審衙門回収問題ニ関シ丁文江ト会谈ノ件

別電 同日在上海矢田總領事發幣原外務大臣宛電報第一五四号
上海會審衙門回収ニ関スル丁文江覚書

第一五三号 (六月十一日接受)

クハ我等ヲシテ會審衙門回収問題ヲ促進スルコトニ付躊躇セシムト論シ丁ヨリ痛烈ナル反駁ヲ受ケ相方激昂ノ氣味ニテ時間ヲ空費シ結局米國總領事容喙シ漸ク本論ニ入レリ

(四)我方対案ヲ述ヘタル処丁ハ一見満足ノ体ニテコレナラハ交渉纏ル見込アリト言明シタルニ付此処ニ於テ首席領事タル米國總領事ヨリ外交団ノ訓令ニ基キ五國委員ノ成立ヲ告ケ次回ヨリ正式委員トシテ五國總領事會合ニ臨ムヘキ旨申聞ケタル処丁ハ大イニ賛成ナリ自分ハ伯刺西爾葡萄牙墨西哥等治外法権ヲ悪用スル領事力加入スルカト心配シ居タリト述ヘ我等モ彼等ノ悪用ニ付テハ遺憾乍ラ同感ヲ表セサルヲ得スト答ヘ散会セリ

(別電)

六月十日在上海矢田總領事發幣原外務大臣宛電報第一五四号
上海會審衙門回収ニ関スル丁文江覚書

第一五四号 (六月十一日接受)

(一)上海港内ノ外国船内發生「ミキスト、クリミナル、ケース」ハ特別法院ノ管轄ニ帰スヘシ
(二)越界租界道路ヲ含ム「フレンチプロパティ」上ニ起ル

七 中国治外法権委員会會議關係 八六五

往電第一四〇号ニ関シ

(一)六月九日午前三国總領事會合丁文江ヨリ本日會合ノ申出アル処同人覚書(別電第一五四号)ハ從來ノ我方主張ト大分接近シ来リタルモ未タ右ニ対シ我等ヨリノ何等意見ヲ表示シ居ラサルニ付丁ノ要求ニ応シ本日ノ會合ニハ我等三人ノミニテ出席シ文体ノ話ヲ纏ルコト得策ナルヘシトノコトニ一致シ

(二)尚米國總領事ハ本件交渉ノ重点タル支那人刑事事件ニ會審官ヲ立會ハシムル件ニ付新修正案アリトテ支那側力反對スルハ主トシテ會審官ナル文字ニアルコトヲ探リタルヲ以テ之ニ代フルニ例ヘハ Deputy of Consular Bodyノ如キ文字ヲ以テスレハ租界ノ公安ニ直接關係アル支那人ノ刑事事件ニ付テモ(往電第一三六号)右代表ノ臨席ヲ承諾セシムル見込アリト述ヘタルニ依リ一同之ニ贊同シテ散會シ

(三)午後ノ支那側トノ會見ニ臨メリ先英國總領事ハ會議ニ入ル前ニ五月三十日記念日ニ於ケル支那官憲ノ取締ノ不徹底不誠実ヲ糾弾シ(往電第一四三号参照)斯ノ如ク支那官憲カ地方ノ治安維持ニ付租界当局ニ対シ協力ノ誠意ナ

「ミキスト、クリミナル、ケース」ハ特別法院ニ於テ審理セラルヘシ但上海県宝山県ニ發生スルモノニ限ル

(三)租界接壤地域内ノ「ミキスト、シビル、ケース」ハ特別法院ニ於テ審理セラルヘシ但右事件ハ上海県及宝山県内ノモノニ限ル

(四)過去十五年間ノ會審衙門ノ判決ハ左ノ除外例ヲ除キ凡テ有効ト認ム

- a 控訴ノ權利ヲ留保セラレタル事件
- b 欠席裁判ニシテ執行セラレサルモノ

(右兩者トモ控訴又ハ再審ヲ許ス)

(五)外国商社ノ雇支那人ニシテ職務執行上刑事被告人トナリタル者ハ次ノ孰レカノ方法ニ依リ処理セラルヘシ

(1)右ノ如キ事件ハ市參事會ノ代理者即チ租界警察官ノミニ起訴權ヲ与フヘシ

(2)若シ当該外國商社カ事件ノ結果 Suffer スルモノト法廷力認ムル場合ニハ普通ノ手續ニ從ヒ「ミキスト、ケース」トシテ審理セラルヘシ

(六)外国弁護士ハ「ミキスト、ケース」以外ニハ出廷スルコトヲ許サレス

(付) 治外法権ヲ有スル国ノ人民被告ニテ之ヲ有セサル国ノ人民原告ナル事件ハ特別法院ニ於テ審理セラルヘク而シテ法廷ハ第三国領事一人ヲ「アディシヨナル、ジャッジ」トシテ参加スルコトヲ求メ之ヲ支那法廷ノ判事ノ一人ト認ム

(四) 財政問題ハ孫伝芳ノ塩稅收入ヲ以テ保障ス

(五) 港政問題ハ主義上ノ問題カ取極メラレタル後協議決定スヘク省政府ト協議スル要アルニ付今決定案ヲ提出シ難シ尤モ困難ハ無カルヘシ

(六) 裁判手續問題ハ法律委員ニ依リ決定セラルヘキモノナルカ夫レニハ多大ノ日子ヲ要スヘキニ付右委員會ノ結果ヲ待タス会審衙門ノ返還ヲ行ナフコトヲ提案ス但委員會カ協定ヲ得サル迄ハ現行手續ヲ一時施行スヘシ

尚丁ヨリ法院ノ「クラーク」ニハ出来得ルタケ外国人ヲ避ケル方針ノ提案アリ

委細郵送

在支公使ヘ転電セリ

八六六 六月二十三日

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

助スル所以ナルヘク這般ノ消息ハ丁文江カ回收ノ原則ヲ取極メ得レハ実施上ノ細則ハ新ニ設ケントスル國際委員會ノ審議協定ニ移譲スル旨繰リ返シ居ルニ依リテモ推知シ得ヘシト述ヘタルニ英國總領事ハ自己ノ經驗ニ依レハ支那人ハ愈々調印トナレハ責任ヲ回避シテ逃ケ廻ルモノナレハ本件交渉ノ前途モ樂觀ヲ許サスト述ヘ本官ハ樂觀スト云ヒ米國總領事ハ本官ニ同意シ結局右措置ヲ実行スルハ未タ其ノ時期ニアラストノ意見ニ一致セリ右討議ハ議事録ヨリ削除スルコトニ決シタルヲ以テ電報ス
北京ヘ転電セリ

八六七 七月三日(着)

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

還付協定ノ内容ニツキ中国側ト略意見ノ一致

ヲ見タル件

別電

同日在上海矢田總領事發幣原外務大臣宛電報第
一八一号

上海会審衙門還付ニ關スル協定案要領

第一八〇号

往電第一六八号ニ関シ

支那側再修正案(六月三十日付機密第五一五号添付)ニ付

總領事會議ニ於ケル会審衙門還付問題討議ニ
ツキ報告ノ件

第一七一号

往電第一六八号ニ関シ

二十一日ノ第四回五國總領事會議ニ於テ「バートン」ハ昨夜最近北京ヨリ帰任セル仏國總領事來訪シ本件交渉ノ模様ヲ承知シタシト申出テタルカ同總領事ハ自國租界内ニ会審衙門ヲ有スル關係上当然ノ要求ト認メ詳細説明シ置キタリ其ノ際仏國總領事ハ自分ニ「サゼスシヨ」アリトテ本件交渉ノ如何ニ拘ハラス此ノ際支那人間ノ民事事件ヨリ會審官ヲ引揚クルコトハ支那人ニ好印象ヲ与ヘ本件解決ニモ便ナルヘシト述ヘタルカ右ハ北京外交團ノ意向ヲ傳達シタルモノト思ハル節アリト付言セリ右ニ對シ米國總領事ハ自分ハ右「サゼスシヨ」以上ニ自發的措置ヲ執ルコトヲ「ブレベア」シ居レリト述ヘ本官ハ我等一致シテ右措置ヲ執ルコトニハ主義トシテ異議ナキモ之ヲ以テ支那民衆懷柔政策トシテ実行セントスルナラハ反對ナリ純粹ナル政策論ヨリ云ヘハ寧ロ現状ノ儘トシテ交渉ヲ進メ調印ト共ニ他ノ条件ト一律実行スル方相手方タル孫伝芳ノ国内政策ヲ援

六月二十五日小委員會ニテ討議(議事録ハ前記公信ニ添付)ノ後各國領事ニ回狀ヲ以テ七月一日領事團會議ニ付議スヘキコトヲ通知シ別ニ市參事會ニ同案ヲ回付シテ考慮ヲ求メ二十八日ノ小委員會ニ市參事會議長ヲ招致シテ其ノ意見ヲ聴取シ越エテ七月一日領事團會議ニ是迄ノ經過並ニ小委員會ノ意見ヲ報告シ其ノ贊同ヲ得テ五國總領事ハ二日午後支那側ト會見シ討議ノ結果丁文江ハ英國總領事ノ「レツジストラ」ノ名稱維持ノ主張ニ對シ同意ヲ与ヘサル外總テ我方主張ヲ容レタリ今次協定案ノ要点ハ大体別電第一八一号ノ通ナリ

尚右協定案ハ支那側ニ於テ更ニ文章ヲ精鍊シタル上確定案ヲ差出スコトトナレリ領事團ニ於テ右確定案接受ノ上ハ首席領事ヨリ之ヲ北京外交團ニ送致シ其ノ承認ヲ得タル後調印スルコトニ取極メタリ又今次協定案ニ記載セサル事項中外國弁護士ノ出廷權新法廷ノ財政保障管轄區域等公文交換ニ依ルモノハ引續キ五國委員ト協定シ「レツジストラ」ノ職權租界ノ治安ニ影響ヲ及ホスヘキ刑ノ種類等ハ右確定案カ孫伝芳ノ承認ヲ得ルヤ否ヤ構成セラルヘキ國際法律委員(往電第一七一号)ニ於テ協定スルコトセリ而シテ右

八七〇 七月二十六日(着)

在上海矢田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

孫伝芳ノ協定案承認及ビ北京政府トノ交渉ハ

孫二一任アリタキ旨丁文江ヨリ申出ノ件

第二〇一号

本官発在支公使宛電報第一四〇号

往電第一三九号ニ関シ

二十六日丁文江本官ヲ来訪シ協定案ハ全部孫伝芳ノ承認ヲ得タルニ付米國總領事ヲ訪問シタルニ未タ北京ヨリ訓令ニ接セサル趣ナル処各方面ヨリ種々妨害運動起リツツアル事態ニ鑑ミ至急調印シタキニ付貴國公使ニ宛テ訓令促進方並ニ事件解決上外交団ニ於テ本件ニ付支那政府ヘ「レフアイ」スル事ヲ見合ハセ北京政府トノ交渉ハ孫伝芳ヘ一任アリタキ旨差支ナクハ併セテ申添ヘラレ度旨願出タリ支那側ノ内情ヲ知ル資料トモ存シ電報ス
外務大臣ヘ転電セリ

八七一 七月三十一日(着)

在上海矢田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日、英、中三者間ニ上海会審衙門回収ニ関ス

大正十五年七月三十一日

(八月十八日接受)

在上海

総領事 矢田 七太郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

会審衙門回収問題ニ関スル件

往電第二〇九号ニ関シ本件協定確定案(七月二十二日付機密第五八二号拙信付属)ノ確定漢訳文二通茲ニ進達ス

(付属書)

上海会審衙門還付協定確定案

收回上海会審公廨暫行章程

(一)(甲) 江蘇省政府就上海公共租界原有之会審公廨改設臨時法庭除照条约属於各国領事裁判權之案件外凡租界内民刑案件均由臨時法庭審理

(乙) 凡現在適用於中国法庭之一切法律(訴訟法在内)及条例及以後制定公布之法律条例均適用於臨時法庭惟当顧及本章程之規定及經將來協議所承認之会審公廨訴訟慣例

(丙) 凡与租界治安直接有関之刑事案件以及違犯洋涇浜章程及付則各案件暨有領事裁判權約国人民所雇華

七 中国治外法権委員会會議關係 八七二

ル確定案一致ヲ見タル件

第二〇九号

往電第一九七号末段ニ関シ

三十日本官英国總領事ト共ニ丁文江ト会见漢訳文ノ修正意見ヲ提出シ討議ノ結果三者ノ意見一致シタルニ付右確定案郵送ス

尚其際英漢両文ノ何レヲ「テキスト」トスルヤノ質問ニ対シ丁文江ハ兩者ノ間將來解釈上ノ異議生セサル様忠実ニ訳シアレハ右ノ点ヲ問題トシテ提起セラレサル様願タシト答ヘタリ

在支公使ヘ転電セリ

八七二 七月三十一日

在上海矢田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

会審衙門還付協定ニ関スル確定案漢訳文進達

ノ件

付属書 上海会審衙門還付ニ関スル暫行協定確定案(漢

文)

付記一 上海会審衙門還付ニ関スル暫行協定(邦文)

二 上海会審衙門回収問題經過概要

機密第六〇八号

人為刑事被告之案件均得由領袖領事派委員一人觀審該員得与審判官並座凡審判官之判決無須得該委員同意即生效力但該委員有權將其不同意之点登載記錄又如無中国審判官之許可該委員對於証人及被告人不得加以訊問

(丁) 所有法庭之伝票拘票及命令經由審判官簽字即生效力前項伝票拘票及命令在施行之前必責成書記官長編號登記凡在有領事裁判權約国人民居用之所執行之伝票拘票及命令該關係国領事或該当官員於送到時必即加簽不得遲延

(戊) 凡有領事裁判權国人民或工部局為原告之民事案件而有領事裁判權約国人民為告訴人之刑事案件得由該關係国領事或領袖領事按照条约規定派官員一人会同審判官出庭

(己) 臨時法庭之外另設上訴庭專弁与租界治安直接有関之刑事上訴案件及華洋訴訟之刑事上訴案件其庭長由臨時法庭庭長兼任但五等有期徒刑以下及違犯洋涇浜章程与付則之案件不得上訴
凡初審時領袖領事派員觀審之案件上訴時該領袖領

事得另派委員觀審其權限及委派手續与初審時委員相同至華洋訴訟之刑事上訴案件亦照同樣弁法由領事易員出庭

(庚) 臨時法庭之庭長推事及上訴庭之推事由省政府任命之

(二) 臨時法庭判處十年以上徒刑及死刑案件須由該法庭呈請省政府核准其不核准之案件即由省政府將不核准理由令知法庭復行訊斷呈請省政府再核凡核准死刑之案送交租界外官厅執行租界內檢驗事宜由臨時法庭推事会同領袖領事所派之委員執行

(三) 凡付屬臨時法庭之監獄除民事拘留所及女監当另行規定外應責成工部局警務處派員專管但一切管理方法應在可以實行範圍之內遵照中国管理監獄章程并理並受臨時法庭之監督法庭庭長應派視察委員团隨時前往調查該委員团应于領袖領事所派委員中加入一人如對於管理人犯認有欠妥之處應即報告法庭將不妥之處責成工部局立予改良工部局警務處應即照弁不得遲延

(四) 臨時法庭之伝票拘票命令應由司法警察執行此項法

警由工部局警務處選派但在其執行法警職務時應直接對於法庭負責凡臨時法庭向工部局警務處所需求或委託事件工部局警務處應即竭力協助進行至工部局警察所拘提之人除放飯時日不計外應於二十四小時內送由臨時法庭訊弁逾時應即釈放

(五) 凡經有領事派員会同審判官出庭之華洋民事案件如有不服初審判決之時應向特派交涉員署提起上訴由交涉員按照條約同有關係領事審理但得交原審法庭易員復審其領事所派之官員亦須更易倘交涉員与領事對於曾經復審案件上訴時不能同意即以復審判決為定

(六) 法庭出納及双方合組委員會所規定之事務應責成書記官長管理該書記官長由領袖領事推薦再由臨時法庭呈請省政府委派受臨時法庭庭長之監督指揮管理屬員並妥為監督法庭度支如該書記官長有不勝任及溺職之行為臨時法庭庭長得加以懲戒如遇必要時經領袖領事同意得將其撤換

(七) 以上六條係江蘇省政府收回會審公廨之暫行章程其施行期限為三年以交還會審公廨之日起計算在此期

臨時法院ニ於テ之ヲ適用ス但シ本協定ノ規定及後ニ協定セラルヘキ會審衙門ノ慣行タル訴訟規則ヲ考慮スヘシ

(三) 共同租界章程並細則違反ヲ含ム共同租界ノ安寧秩序ニ直接影響アル刑事事件及治外法権ヲ有スル外人ノ使用人力被告人タル一切ノ刑事事件ニハ首席領事ハ推事ト同席シ審理ヲ監視セシムル為代理 (Deputy) ヲ任命スルコトヲ得判決ノ効力ヲ生スル為ニハ右代理ノ同意 (Concurrence) ヲ必要トセス但右代理ハ反對意見ヲ記録ニ止ムルノ權利ヲ有ス又代理者ハ推事ノ許可ヲ經シテ証人又ハ犯人ヲ訊問スルコトヲ得ス

(四) 法院ノ呼出狀逮捕狀及命令ハ推事ノ署名ニ依リ其ノ効力ヲ生ス右呼出狀逮捕狀及命令ノ執行ニ先チ書記官長ハ記録ニ止ムル為之ニ番号ヲ付スヘシ、治外法権ヲ有スル外人ノ占有スル場所 (premises) ニ於テ呼出狀、逮捕狀又ハ命令ヲ執行スル場合關係國ノ領事又ハ當該官吏ハ之ヲ提出セラレタルトキハ遲滞ナク之ニ副署スヘシ

(五) 治外法権ヲ有スル外人又ハ上海工部局ヲ原告トスル

(六) 將來不論何時中国中央政府与各国政府交涉撤銷領事裁判權時不受本暫行章程任何之拘束

(九) 本暫行章程所規定交還會審公廨弁法之履行日期應由江蘇省政府代表与領袖領事另行換文決定之

(付記一)

上海會審衙門還付ニ關スル暫行協定

第一条

(一) 江蘇省政府ハ上海共同租界會審衙門ニ代フルニ上海臨時法院 (Shanghai provisional court) ヲ設置ス租界内ノ一切ノ民事及刑事事件ハ條約ニ基キ領事裁判權ニ屬セシメラレタルモノヲ除キ右臨時法院ニ於テ之ヲ審理ス

(二) 他ノ支那法廷ニ於テ現ニ適用セラレ及將來正当ニ制定公布セラルヘキ一切ノ法律 (訴訟法ヲ含ム) 及命令ハ

民事事件及治外法権ヲ有スル外国人ヲ被害者トスル刑事事件ニハ關係国領事又ハ首席領事ハ条約ニ準拠シ推事ニ協同参与スル為一名ノ官吏 (official) ヲ派遣スルコトヲ得

(六) 租界ノ安寧秩序ニ直接影響アル刑事事件及混合刑事事件ヲ審理スル為臨時法院ニ控訴廷ヲ付設ス臨時法院長ハ同時ニ右控訴廷長タルヘシ但第五等ノ有期懲役以下ノ刑罰ニ該当スル事件及共同租界章程及細則違反事件ニ付テハ控訴ヲ許サス
原審ニ於テ首席領事ノ代理出席シタル凡テノ事件ノ控訴審ニハ原代理ト同様ノ方法ニ依リ任命セラレ且之ト同様ノ權利ヲ有スル他ノ代理之ニ出席ス

混合刑事事件ノ控訴審ニ於テモ右ト同様別人タル領事館官吏之ニ出席ス

(七) 臨時法院長並推事及控訴廷推事ハ江蘇省政府之ヲ任命スヘシ

第二条

臨時法院ハ十年又ハ十年以上ノ懲役及死刑ニ該当スル罪ニ付テハ判決ヲ江蘇省政府ニ通知シ其ノ承認ヲ求ムヘシ

ノ職務執行ニ付テハ法院ニ対シ責ニ任ス工部局警察ハ法院ノ要求又ハ委託シタル事項ニ付充分且迅速ナル援助ヲ与フヘシ工部局警察ニ逮捕セラレタル者ハ休日ヲ除キ二十四時間以内ニ審理ノ為法院ヘ送致セラルヘク右期間内ニ之ヲ送致スル能ハサルトキハ之ヲ釈放スヘシ

第五条

領事館官吏カ推事ニ協同参与シタル凡テノ混合民事事件ノ控訴ハ之ヲ条約ニ基キ關係国領事ト共同処理スヘキ交渉員ノ官署ニ提起スヘシ但シ右ノ事件ハ他ノ推事ヲシテ再審セシムル為臨時法院ニ差戻スコトヲ得ヘク原審ノ領事館官吏亦變更セラルヘシ再審ニ付セラレタル事件ノ控訴ニ関シ交渉員及領事間ニ一致ヲ見サルトキハ再審ノ際与ヘラレタル判決ヲ有効トス

第六条

法院ノ会計事務及共同委員会ニ依リ決定セラルヘキ其ノ行政事務ハ書記官長ニ委託セラルヘシ書記官長ハ首席領事之ヲ推薦スヘク省政府ハ法院長ノ申請ヲ俟テ書記官長ハ法院長ノ監督及命令ニ服シ部下事務員ヲ統督シ且法院ノ會計ニ付固有ノ監督權ヲ行使ス書記官長無能ナルカ又

省政府其ノ承認ヲ拒ムトキハ其ノ理由ヲ具シ同法院ニ事件ノ再審理ヲ為シ再判決ヲ省政府ニ送致スヘキコトヲ命スヘシ

死刑ニ処スルコトヲ承認セラレタル凡テノ刑事事件ハ之ヲ租界外ノ支那官憲ニ送致シ刑ノ執行ヲ為サシム

租界内ニ於ケル檢驗 (inquests and autopsies) ハ臨時法院推事及首席領事ノ任命スル代理共同シテ之ヲ為ス

第三条

臨時法院付屬ノ監獄ハ別ニ規定ヲ設クヘキ民事被告看守所及女監ヲ除キ特ニ派遣セラレタル工部局警察官之ヲ管理ス監理ハ出来得ル限り支那監獄法ニ準拠スヘク右警察官ハ法院ノ監督ヲ受クヘシ臨時法院長ハ首席領事ノ代理一人ヲ含ム巡視委員ヲ任命シ隨時監査セシメ囚人ノ監督ニ付不滿ノ点アルトキハ之ヲ法院ニ報告セシムヘク法院ハ工部局警察ニ対シ其ノ矯正ヲ命令シ同警察ハ遲滞ナク之ヲ遂行スヘシ

第四条

臨時法院ノ発スル凡テノ呼出狀逮捕狀及命令ハ工部局警察ヨリ特ニ派遣シタル司法警察之ヲ執行ス司法警察ハ其

ハ其ノ職務ニ懈怠アルトキハ法院長之ヲ譴責シ必要ナル場合ニハ首席領事ノ同意ヲ得テ之ヲ解職スルコトヲ得

第七条

江蘇省政府ニ対スル会審衙門還付ニ関スル暫行協定タル前六条ノ規定ハ会審衙門引渡ノ日より起算シ三年間効力ヲ有ス右期間内ニ於テ支那中央政府ハ何時タリトモ在北京外國公使ニ対シ最終的解決ノ交渉ヲナスヲ得ヘク支那中央政府及右外國公使之ニ同意スルニ於テハ之ヲ以テ現仮協定ニ代フヘキモノトス三年ヲ經過スルモ尚北京ニ於テ最終的解決ニ到達セサルトキハ現仮協定ハ尚三年間其ノ効力ヲ存続ス但シ最初ノ三年ノ期間満了ニ際シ江蘇省政府ハ現協定ノ更改ヲ提議スルコトヲ得ヘク右ニ関スル通告ハ右最初ノ満了前六ヶ月ニ之ヲ為スヘキモノトス

第八条

本暫行協定ハ支那中央政府及外國政府間ニ將來生スヘキ治外法権ノ撤廃ニ関スル論議ニ於テ支那政府ヲ拘束スルモノニ非ス

第九条

本暫行協定ニ基ク会審衙門ノ還付期日ハ江蘇省政府及首

席領事間ノ公文交換ヲ以テ之ヲ決定スヘシ

(付記二)

上海会審衙門回収問題經過概要(大正十五年八月)

一、交渉ノ經過

(一)一九二六年五月孫伝芳ノ命ニヨリ淞滬商埠總弁丁文江ハ会審衙門回収問題ニ関シ上海領事団ト支那側トノ間ニ地方的交渉開始ノ見込アリヤ否ヤヲ確ムル為ニ在上海日英米ノ三国總領事ニ会见ヲ申出テタル処本件ハ北京ニ於テ交渉繁属中ニテ且領事団ヨリ何等訓令ヲ受ケ居ラサルニ依リ三国總領事ハ非公式ニ意見ヲ交換スルコトトシ二十一日第一回会合ヲ催シタルニ丁文江ハ一九二四年ノ支那政府對案ヲ交渉ノ基礎トナスヘキ旨言明シ其後二回ニ亙リ非公式会合行ハレタリ

一方外交団ハ五月二十七日ノ會議ニ於テ上海領事団ヲシテ地方的ニ交渉ヲ進メシムルコトニ決定シ領事団ニ對シ(1)一九二四年ノ支那政府對案ヲ討議ノ基礎トシ(2)協定成立ノ場合ニハ上海ニ於テ公表セシメ(3)之ヲ外交団ニ報告シテ其承認ヲ求ムヘキ旨訓令セリ

右外交団ノ訓令ニ基キ六月一日ノ上海領事団會議ニ於テ

ノ領事団會議ニ付議シタルニ修正意見アリタル為五國總領事ハ更ニ丁文江ニ右修正方交渉シ外交団ニ對シテハ該確定案ヲ其儘送付シ修正点ハ決定次第通告スルコトニ決セリ然ルニ支那側ハ六月九日前記確定案ニ對シ更ニ修正方申出タルヲ以テ十六日ノ会合ニ於テ最終協定案ヲ得タリ

右最終協定案ハ二十日ノ領事団會議ニ付議セラレタル処葡国總領事及伯国總領事ヨリ修正意見アリタルモ結局其儘承認セラレタリ

(三)右協定案ニ掲ケサル事項即(1)上海港内ニ於ケル事件、上海隣接地ニ於ケル事件及租界外ノ工部局道路上ノ事件ニ對スル新法院ノ管轄權、(2)領事団ノ会審衙門管理中ノ判決ノ効力ヲ支那側ヲシテ認メシムルコト、(3)新法院ノ財政及人事、(4)支那刑法ニ規定セル事件ニシテ租界ノ安寧秩序ニ直接關係アリト認ムヘキモノヲ列挙スルコト、(5)外国弁護士ノ出廷權ノ各事項ノ協定ニ付テハ領事団ト支那側トノ間ニ於テ回収ニ關スル協定案ニ付属スル交換公文ノ形式ニ依リ右交換公文ヲ行ヒタル後協定案ニ調印スルコトニ取極成立シ又書記官長(Chief Clerk)ノ權限

本件交渉ヲ日英米蘭及諸ノ五國領事ヨリ成ル領事団委員會ニ委託シタリ丁文江ハ同月二日付ヲ以テ第三回非公式会合ニ於ケル英國總領事ノ質問ニ對スル回答覺書ノ形式ニテ十箇条ヨリ成ル提案ヲ(別表第二参照)送付シ来レルニ付日英米三国總領事ハ同月九日丁ト会见シ交渉纏ル見込アルヲ確メタル上今後ハ前記五國總領事ヲ正式委員トシテ交渉ヲ開始スヘキ旨申入レタリ

(二)六月十六日付ヲ以テ丁文江ハ前記六月二日付覺書ニ基キ一九二四年ノ支那政府對案ノ修正案ヲ提出シタルヲ以テ五國總領事ハ之ヲ逐条審議ノ結果意見ノ一致ヲ見タル諸点ヲ纏メ二十一日丁文江ト会见討議シタルニ丁孫伝芳ノ承認ヲ經テ再修正案ヲ提出シタリ五國總領事ハ右再修正案ニ付更ニ討議ヲ重ネ一方工部局參事會議長ヲ招致シテ其ノ意見ヲ求メタル上委員ノ意見ヲ纏メ七月一日ノ領事団會議ニ於テ領事団ノ承認ヲ經テ同日丁ト会见シタルニ丁文江ハ殆ント領事団委員會側ノ主張ヲ容認シ協定案ハ支那側ニ於テ字句ヲ修正スルコトナリタルモ其ノ後丁文江ノ要求ニ依リ五國總領事側ニ於テ之ニ適當ト認ムル修正追加ヲ為シ確定案(別表第三参照)トシテ七月六日

及新法院ノ訴訟手續ハ外支各三名ヨリ成ル共同委員會ニ於テ審議協定ノ上領事団及支那側ノ承認ヲ經テ効力ヲ發生スヘク右協定ノ成立スル迄ハ新法院ハ現在ノ訴訟手續ニ拠リ審理ヲ行フコトニ決定セリ

然ルニ七月二十六日丁文江矢田總領事ヲ來訪シ最終協定案ハ孫伝芳ノ承認ヲ經タルヲ以テ米國總領事(首席領事)ニ之ヲ通告シタルニ同總領事ハ外交団ヨリ未タ何等訓令ニ接セサル旨答ヘタル処各方面ヨリ妨害運動起レルニ顧ミ矢田總領事ヨリ帝國公使ニ對シ外交団ヲシテ速ニ訓令ヲ發セシムル様伝ヘムコトヲ依頼シ且本件ニ關スル支那政府トノ交渉ハ寧ロ孫伝芳ニ一任アリ度旨併セテ申添ヘムコトヲ申出テタルヲ以テ二十七日日英米三国總領事協議ノ結果首席領事ヨリ首席公使宛右ノ趣旨ヲ報告シ支那側ノ希望ニ鑑ミ此際公文交換ノ成立ヲ待タステ最終協定案ニ調印シ得ル様請訓スルコトニ決セリ

北京外交団ニ於テハ各國公使ハ主義ニ於テ本協定案ヲ承認スルコトニ異議ナク八月中旬會議ヲ開キテ正式ニ之ヲ付議スルコトナレリ

(四)我方ニ於テハ在支堀代理公使ノ請訓ニ對シ八月九日付ヲ

以テ左ノ如ク訓電ヲ発シタリ

本協定案ハ大体ニ於テ承認シ差支ナシ但控訴審ニ於テ
Consular official ヲ變更スルコト(第一条第六項末段
及第五条)(註)ハ事實上困難ヲ生スヘキニ付原審ノ官
吏之ニ出席シ得ルコトトスルカ又ハ同項ヲ削除シ得レハ
好都合ナリ尤モ此点ハ強テ主張セラルルニ及ハス外国弁
護士ノ出廷權ニ付テハ本大臣宛矢田總領事發第二一二号
及第二一六号(註2)ノ程度ニテ差支ナシ

(原註)

(註)別表第一、及後出「本協定案ノ内容」五六参照
(註2)外国弁護士ノ出廷ヲ許可スヘキ場合ニ付上海

領事團委員ノ意見一致シタル諸項

(1)外国人カ当事者タル事件(支那側ノ提案)

(2)Deputyノ觀審スル事件

(3)現ニ訴訟繫属中ナル事件ニシテ外国弁護士ノ出廷
シ居レルモノニ付テハ出廷シ得ル期間ヲ會審衙門
引渡後一年乃至一年半ヲ限度トス

(4)會審衙門引渡當時登録済ナル場合支那人間ノ民事

事件

(四カ)
四本件交渉ノ主要ナル点

官廢止ヲ固執スル真意ハ會審官ナル文字ヲ好マサル点
ニ在ルニ付 Deputy of the Consular Bodyノ如キ文
字ヲ以テ之ニ代フルトキハ支那側ニ於テ租界ノ公安ニ
直接關係アル事件ニモ之ヲ出席セシメ得ヘキ見込アル
コト判明シタルヲ以テ六月九日ノ非公式會合ノ際日英
米三国總領事ハ丁文江ニ対シ右趣旨ノ對案ヲ提示シタ
ルニ丁モ之ニ応諾シ茲ニ交渉成立ノ見込立チタリ

丁文江カ六月十六日付ヲ以テ提出シタル支那側回收案
ニハ會審官ヲ二種ニ分チ(一)治外法権国人ヲ原告又ハ被
害者トシ支那人ヲ被告又ハ加害者トスル事件ニハ從來
通ノ權限ヲ有スル會審官ノ出席ヲ認メ(二)租界ノ公安ニ
直接關係アル刑事事件ノ審理ニハ首席領事ノ派遣セル
Deputy之ニ觀審スルコトヲ得ルモ審理及判決ニ干渉
スルコトヲ得ス (shall not interfere with the trial
and judgment) トシ且(三)右(一)ノ事件ハ第五等ノ懲役
以下ノ刑罰ニ該當スル事件及警察犯ヲ除キ控訴ヲ許ス
コトトシタルカ更ニ領事團委員ノ修正意見ヲ容レ(一)治
外法権国ノ商館ノ使用人タル支那人カ業務執行ノ際刑
事被告人トナリタル場合右商館ニ利害關係アリト法廷

本件交渉中最モ議論ヲ生シタル点ハ(1)會審官ノ權限(2)檢
察員 (registrar)ノ名称及權限ナリ

(1)丁文江ハ日英米三国總領事トノ第二回非公式會合ニ於
テ一九二四年ノ支那政府對案ヲ交渉ノ基礎トスヘキモ
支那人間ノ刑事事件ノ審理ニ外國會審官ヲ出席セシム
ルコトハ孫伝芳ニ於テ承認シ難キ旨言明スル処アリ此
点ニ付矢田總領事ハ租界ノ有力ナル英米人ノ意見ヲ叩
キタルニ強テ右事件ニ外國會審官ノ出席ヲ主張セムト
スルノ意思ナキヲ確メ得タルカ英米總領事モ支那側ニ
於テ裁判官ノ地位ノ保障、會審衙門ノ行政等ニ付外國
側ノ主張ヲ容認スルニ於テハ之ニ會審官ヲ出ササルモ
可ナリトノ内意ヲ有スルモノノ如クナリキ而シテ北京
外交團ニ於テモ前記上海領事團ニ対スル訓令中若シ支
那側ニ於テ會審官廢止ヲ固執スルニ於テハ之ニ代フル
ニ Municipal Attorneyヲ任命スルモ可ナル旨付記シ
タリ然ルニ丁文江ハ支那人間ノ刑事事件ハ之ヲ租界ノ
公安ニ直接關係アルモノト然ラサルモノトニ區別シ前
者ニハ租界当局ヲ代表スル外國人檢事ヲ出席セシムル
モ可ナリトノ意見ヲ述ヘタル次第モアリ支那側カ會審

カ認ムルニ於テハ右事件ハ混合事件トシテ會審官ノ出
席ノ下ニ審理セラルヘク(二)ニ付テハ審理ニ際シ Depu-
tyハ裁判官ノ許可ヲ得テ犯人又ハ証人ヲ訊問スルコト
ヲ得可ク判決ハ右 Deputyノ意見一致ヲ其ノ効力發生
ノ要件トセサル旨字句ヲ修正シタル六月二十四日付修
正案ヲ提出シ領事團委員ト討議ノ末結局(一)治外法権国
人若ハ工部局ヲ原告トスル民事事件及治外法権国人ヲ
被害者トスル刑事事件ニハ關係國領事又ハ首席領事會
審官ヲ出席セシムルコトトシ(二)(イ)租界ノ公安ニ直接影
響アル事件(ロ)租界章程又ハ細則違反ノ事件及(ハ)治外法
権国人ノ使用人タル支那人ノ刑事事件ニハ觀審ノ為首
席領事ノ Deputyヲ出スコトニ決定シ判決ニ関シ
Deputyハ反対意見ヲ記録ニ止メ得ルコトナレリ
(原註)
(註) (一)ノハ当初支那側ニ於テモ會審官ヲ出席セシ
ムルコトトシタルモ領事團委員ニ於テ進テ單ニ
Deputyヲシテ之ヲ觀審セシムルニ止ムルコト
ニ讓歩シタリ

(2)檢察員 (registrar)ニ關シテハ支那側ハ(イ) Registrar
(檢察員)ナル名称ハ檢察官ト紛レ易キヲ以テ之ヲ

廢シテ Chief Clerk (書記官長) ト称シ (c) 支那人間ノ民事事件ニ関スル各種文書 (往復書信、訴狀、命令、判決等) ハ書記官長ヲ經サルコト (ハ) 右以外ノ文書ハ書記官長ノ手ヲ通シ其ノ署名捺印ヲ要スルコトニハ異議ナシ但訴狀ヲ受理スルヤ否ヤヲ決定シ又ハ其署名捺印ハ命令及判決ノ効力發生ノ要件ト為ササルコト (ニ) 予算編成ノ職務ハ吏員ノ俸給ヲ増加シ又ハ予算ニ許可ヲ与フルノ權限ヲ有セサルコト等ヲ主張シタリ

之ニ対シ (イ) 英國總領事ハ Registrar ナル文字ノ存続ヲ固執シ和蘭總領事ハ Chief Clerk ト称スルハ其ノ地位ノ低下ヲ意味スヘシト論シタルカ日本總領事ハ「書記官長」ナル名称ハ何等不名譽ナルモノニ非スト述ヘ此点ハ外國側ニ於テ讓歩スルコトナレリ (ロ) 領事團委員ハ捕狀召喚狀等ハ支那裁判官ノ署名ニ依リ効力ヲ發生シ書記官長之ニ捺印スヘキモ領事ノ副署ヲ必要トセサル旨對案ヲ提出シ右ハ書記官長ノ捺印ハ逮捕狀等ノ効力ニ關係ナク唯記録ノ為ニシ何人ニテモ之ヲ閱覽シ得ルコトヲ目的トスルモノニシテ領事ノ副署ヲ廢止スル場合此等命令カ正当ニ発セラルルコトヲ保障スルニ必

等ヲ陳情セリ

(原註)

註 在上海米國弁護士会ハ会審衙門回收ノ曉ニハ支那人間ノ事件ニ付廷權ヲ失フニ至ルヘキヲ以テ回收反對運動ヲ開始シ上海各國弁護士ヲ動カシ日米英仏伊ノ五國代表弁護士ヲ北京ニ送り各自國公使ニ勸說セシムルコトナリタリ

八月三日ノ領事團委員會ニ於テ交換公文案ニ関シ協議シタル際外國弁護士ノ出廷ニ付テハ

- (a) 外國人カ当事者タル事件 (支那側提案) ノ外
- (b) Deputy ノ觀審スル事件
- (c) 現ニ訴訟繫屬中ナル事件ニシテ外國弁護士ノ出廷シ居レルモノニ付テハ會審衙門引渡後一年乃至一年半ヲ限度トシ
- (d) 會審衙門引渡當時衙門ニ登録済ナル場合支那人間ノ民事事件

ニ付之ヲ許可スルコトニ意見ノ一致ヲ見タルニ付八月五日支那側トノ會合ニ於テ領事團ハ右ノ提案ヲ為セリ外交團ニ於テモ本協定案ニ関シ八月中旬開催セラルヘキ會議ニ於テ外國弁護士側提出ノ覺書ニ付キ討議スル

要ナル方法タル旨英國總領事ハ繰返シ主張シタルカ結局「記録ニ止ムル為之ニ番号ヲ付ス」ル旨ノ規定ヲ設クルコトニ妥協成立シ (ハ) 書記官長ノ新法院行政事務ニ関スル權限ハ共同委員會ニ於テ決定スルコトナレリ

(3) 外國弁護士ノ出廷ニ関シテハ支那側ハ外國人訴訟當事者ノ為ニノミ之ヲ許可スヘキコトヲ提案シタルカ領事團委員ハ主義ニ於テ之ニ異議ナカリシモ一応上海弁護士協會ノ意見ヲ徵スルコトシタリ

(原註) 支那側カ外國弁護士ノ出廷ヲ前記ノ如ク限定セムトスル理由ハ (イ) 外國弁護士ハ支那人ノ人慣風俗習慣ニ通セサルコト (ロ) 言語ノ關係上通訳ヲ要シ從テ時間ヲ浪費スルコト (ハ) 法廷ニ於ケル弁護士ノ規律ヲ保ツニ困難アルコト等ニ在リト為ス

外國弁護士協會ハ六月三十日付ヲ以テ首席領事ニ宛テ (一) 會審衙門ノ回收ニ反對シ (二) 外國弁護士ノ支那人間ノ事件ニ出廷シ得ル既得權ヲ維持スルコト (三) 將來開業スル弁護士ニ對シ何等制限ヲ加フル事ニハ異議ナキコト (四) 治外法権委員會報告及勸告ノ公表セラルル迄會審衙門ノ地位並ニ弁護士出廷ニ関スル變更ヲ加ヘサルコト

コトトセリ

(4) 六月二十八日領事團委員ハ工部局參事會議長ヲ招致シ丁文江ノ提案ニ関シ其ノ意見ヲ求メタルニ參事會議長ハ大体ニ於テ支那側ノ提案ニ異議ナキモ (イ) 工部局ハ監獄維持ノ為毎年四十五萬兩ヲ支出シ居レルカ回收後右費用ハ支那側ニ於テ負擔スヘキヤ (ロ) Municipal byelaws 違反事件ニ関シ支那側ハ右 byelaws ノ効力問題ヲ提起シ來ラサルヘキヤ等ノ質問ヲ發シタルニ依リ領事團委員側ハ (イ) 法院ノ收納スル手数料罰金等ハ法院ノ經費ニ繰入ルルコトナルヘキモ一九一一年以前ノ如ク手数料ノ費途ヲ分割スルノ可否ハ尚考究スヘク (ロ) Municipal byelaws ノ効力ニ付支那側ヨリ何等論議ヲ為スコトヲ許ササルヘキ旨答ヘタリ

八七三 八月四日 (着)

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

上海會審衙門回收ニ関スル交換公文案決定ノ件

第二一二号

往電第二〇九号ニ関シ

七 中国治外法権委員会會議關係 八七四 八七五

三日領事団小委員会ヲ開キ交換公文案ニ関シ協議ノ結果大体左ノ通決定シ右案ヲ齎ラシテ五日支那側ト会見スル事トナレリ

(一)交換公文ニハ丁文江ヨリ米國總領事宛六月二日付書翰

(公信第四五九号拙信付属)ノ項目ヲ包含ス

(二)但シ外国弁護士ノ出廷權ニ付テハ混合事件ノ外左記事件ニ付テモ出廷ヲ許容スル様交渉スル事

(イ)「デビュートイ」ノ觀審事件ニ出廷シ得ル事

(ロ)現ニ審理中ノ事件ニシテ外国弁護士ノ出廷シ居ルモノ

ニ付テハ會審衙門引渡後一ケ年乃至一年六ヶ月迄ヲ限
トシテ出廷ヲ許容スル事

在支公使ヘ転電セリ

八七四 八月六日(着)

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海會審衙門回收ニ関スル交換公文案中一項

脱落ノ件

第二一六号

往電第二一二号末段ニ左ノ一項ヲ脱落セリ

(イ)會審衙門引渡ノ當時衙門ノ記録ニ登録シアル外国弁護

上海ニ転電アリタシ

八七六 八月二十三日

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

上海會審衙門回收協定ノ英文「テキスト」ニ

英米總領事ト共ニ調印ノ件

第二三二号

貴電第一二八号ニ関シ

二十三日米國總領事館ニ於テ英米總領事ト共ニ本官英文
「テキスト」ニ調印シタルカ他ノ領事ハ旅行等ニテ不在故
全部終了シ公表セラルル迄ニハ猶相当日子ヲ要スヘシ
北京ヘ転電セリ

八七七 九月一日

在上海矢田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

會審衙門回收ニ関スル協定ニ葡、墨西哥國領事

ヲ除キ調印、中国側モ八月三十一日調印シタ

ル旨報告ノ件

第二四四号

往電第二三二二号ニ関シ

米國總領事ニ尋ネタル処今尚ホ旅行中ノ葡萄牙及墨西哥領

七 中国治外法権委員会會議關係 八七六 八七七

一〇一六

士ハ向フ五年間ヲ限り支那人訴訟者ヨリ依頼アル時ハ
支那民事事件ニ付出廷ヲ許容スル事(本官發公使宛往
電第一三八号大臣宛第一九六号前段参照)

八七五 八月九日

幣原外務大臣ヨリ
在中国堀臨時代理公使宛(電報)

上海會審衙門回收ニ関スル協定案大体ニ於テ

承認差支ナキ旨訓令ノ件

第二一一号

貴電第四八三号ニ関シ

本件協定案大体ニ於テ承認シ差支ナシ但シ控訴審ニ於テ
Consular Officialヲ變更スルコトハ(第一条第六項末段
及第五条)事実上困難ヲ生スヘキニ付原審ノ官吏之ニ出席
シ得ルコトトスルカ又ハ同項ヲ削除シ得レハ好都合ナリ
尤モ此点ハ強テ主張セラルルニ及ハス外国弁護士ノ出廷
權ニ付テハ本大臣宛矢田總領事發第二一二号及第二一六号
ノ程度ニテ差支ナシ本大臣宛矢田總領事發第二一七号無条
約國人ヲ被告トシ条約國人ヲ原告トスル事件ニ付既ニ北京
ニ於テ意見ノ一致ヲ見タル旨丁ヨリ申出タル趣ノ処其ノ内
容電報アリタシ

事ヲ除キ他ノ領事ハ其ノ後總テ調印シ支那側ニテハ三十一
日丁文江及許交渉員調印シタリ又伊太利ノ反对ニ付テ北京
外交団ヨリ訓令ノ次第アリタルモ同國領事ハ何等ノ「レザ
ーベーション」ナシニ調印セリト

北京ヘ転電セリ

編註 八月三十一日付協定ノ署名者ハ次ノ通りデアル

EDWIN S. CUNNINGHAM

Consul General of the United States

N. AALL

Consul General for Norway

J. VAN HAUTE

Consul General for Belgium

S. BARTON

Consul General for Great Britain

J. DE LILLIEHOÖK

The Consul General of Sweden

S. YADA

Consul General for Japan

A. S. P. BRANDAO

一〇一七

七 中国治外法権委員会會議關係 八七八

Consul General for Brazil

S. LANGKJAER

Consul General for Denmark

E. NAGGLAR

Consul General for France

GIORGIO PIRAJNO

Acting Consul General for Italy

FRANCISCO DE PAULA BRITO

Consul General for the Portugal

F. KAESTLI

Acting Consul General for Switzerland

G. M. BUVANCK

Acting Consul General for the Netherlands

JULIO PALENCIA

Consul for Spain

NORWOOD F. ALLMAN

Consul for Mexico

~~~~~  
(昭和元年) 在上海矢田総領事ヨリ  
八七八 十二月三十一日(着) 幣原外務大臣宛(電報)

一〇一八

領事會議ニ於テ一月一日会審衙門引渡シヲ実  
行スル事並ビニ交換公文ノ署名方等協議ノ件

付記一

昭和二年一月一日着在上海矢田総領事發幣原

外務大臣宛電報第四一六号

会審衙門引渡シハ国民革命軍ノ上海占領以前  
ニナシ置クコト有利ナル旨等ノ領事団意向報  
告ノ件

二

同年一月三日着在上海矢田総領事發幣原外務

大臣宛電報第二号

首席領事ニ於テ公文交換ノ上会審衙門印璽ヲ

中国側ニ引渡シタル件

三

会審衙門還付ニ関スル暫行協定付属交換公文

(外務本省作成)

四

同年一月六日付在上海矢田総領事ヨリ幣原外

務大臣宛機密第一二号信

会審衙門還付直後ニ於ケル法廷審理状況等報  
告ノ件

第四一四号

公使發閣下宛電報第八七一号ニ関シ三十日領事會議ヲ開キ  
曩ニ「ジョイントコムミッション」ヨリ提出ニカカル租界  
ノ治安ニ影響ヲ及ホス可キ刑ノ種類衙門引渡シノ結果直ニ  
變更ヲ絶對的必要トスル現行手続法中ノ諸点、「チーフク

ラーク」ノ任務及支那監獄規則等ニ関スル報告ヲ「アッ  
プルー」シ(右報告ハ大体ニ於テ不可ナキモノト認め且經  
伺ノ違ナカリシヲ以テ本官モ之ヲ「アッブルー」セリ)

引渡ヲ一月一日実行スル事トシ左ノ通り決定セリ

一、交換公文ノ署名者ニ就テハ領事団ニ於テモ思違シ居タ  
ルカ右ハ暫行章程第九条ニ首席領事署名スト明記シアル  
ヲ以テ各個署名ノ問題起ラス從テ白耳義ノ希望ヲ容ルル  
与ハサリシモ同國領事力暫行章程ノ署名者タル以上其地  
位ニ何等影響ナシトノ見解ナリ

二、「デピュチー」八名ニ付テハ本官ハ田島及長岡ヲ英米  
ハ現任者各二名ヲ又伊國及和蘭ハ各一名ヲ拳ケ爾余ノ領  
事ハ候補者ヲ出サス又瑞典ハ一名ヲ出シタルモ撤回シタ  
ル為選舉ヲ要セス決定ヲ見タリ(現任常任会審官ニ比シ  
日蘭ノ二名増加セル事ニナル)

尚長岡ハ草野着任後帰朝スル事ニナリ居レトモ「デピュ  
チー」後任ハ其國ノ領事補充シ得ルニ付選舉ノ場合ヲ考  
慮シ既ニ会審官トシテノ經驗アリト知ラレ居ル同官ヲ候  
補者ニ拳ケタル処前記ノ通り確定シタル次第ナリ

三、交換公文ノ發表ハ支那側ノ希望モアリタルニ付其儘發

七 中国治外法権委員会會議關係 八七八

表セス追テ支那側ト協議ノ上同内容ノ文書ヲ以テ公表ス  
ル事

四、交換公文ノ支那文ハ本官及英米總領事ニ於テ三十一日  
午前英文ト比較研究ヲ行ヒ其結果ヲ齎シ同日午後支那側  
ト会见シ確定案ヲ作成シ調印ノ手続ヲナス事

五、新法廷ノ經費(往電第三五九号)ハ其後交渉ノ結果支  
那側ハ上海県宝山県ニ属スル外国人所有土地ニ対スル地  
租(一畝一兩<sup>テール</sup>)ヲ以テ之ニ充テ不足ノ場合ニハ税関收入  
ヲ以テ保障スル事ニ北京政府ノ了解アリトノ事ニ付首席  
領事ハ之ヲ報告セリ尚右ニ関スル公文交換ハ三十一日付  
ヲ以テ手続ヲ了スル筈

六、尚新法廷ハ一月四日より事務開始ニ付「デピュチー」  
ハ三日朝米國總領事館ニ集合シ当番順其他ノ打合せヲ行  
フ筈

在支公使へ転電セリ

(付記一)

昭和二年一月一日着在上海矢田総領事發幣原外務大臣宛電報  
第四一六号

会審衙門引渡シハ国民革命軍ノ上海占領以前ニナシ置クコト  
有利ナル旨等ノ領事団意向報告ノ件

一〇一九

第四一六号

往電第四一四号ニ関シ

孫伝芳ノ引渡ヲ急キ立テタルト南軍上海占領以前ニ片付ケ置ク方有利ナル可シトノ各国領事ノ意向ニ依リ一瀉千里ニ決定シ兎ニ角明一月一日名義上会審衙門ヲ支那官憲ニ引渡ス事トナリタル次第ナルカ尚幾多ノ問題残リ居ルノミナラス引渡後ノ運用ニ付テモ疑問ヲ抱カシムル点鮮カラサルモ本官トシテハ此際微細ニ亙リテ追窮シ引渡其物ヲ遅延セシムル責任ヲ負担スルハ面白カラサルニ付最後ノ領事會議ニ於テ首席領事ノ代表ヲ英米同様二名ニ増員シタル事ヲ以テ満足シ今後ノ模様ヲ見ル所存ナリ

在支公使ヘ転電セリ

(付記二)

昭和二年一月三日着在上海矢田総領事発幣原外務大臣宛電報第二号

首席領事ニ於テ公文交換ノ上会審衙門印ヲ中国側ニ引渡シタル件

第二号

首席領事ハ一日支那側ト公文ヲ交換シ会審衙門ノ印ヲ支那側ニ交付シ引渡ヲ了セリ

在支公使ヘ転電セリ

(付記三)

会審衙門還付ニ関スル暫行協定付属交換公文  
(漢訳ハ回收ノ後ハ「法廷」トセスシテ「法院」ト為ス)

第一条第一項ニ規定セラルル上海臨時法院ノ設立ハ会審衙門ノ過去ニ於ケル判決ノ効力ニ何等影響スルモノニ非ス右判決ハ一切ノ事件ニ有効且最終ナルコトヲ承認ス但シ左記民事事件ヲ除ク

(a) 上訴ノ權利ヲ留保シ且判決未タ執行セラレサルモノ

(b) 闕席判決アリ右判決未タ執行セラレサルモノ

右二種ノ事件ニ付テハ臨時法院ノ訴訟手續ニ從ヒ上訴又ハ再審ヲ尚江蘇省政府ハ回收日ニ至ル迄ノ会審衙門ノ判決及回收期日以後ニ於ケル臨時法院ノ判決ノ効力ヲ該省内ノ他ノ凡テノ支那裁判所ノ判決ノ効力ト同等ナラシムヘキコト第一条第一項ニ掲クル法院ノ權限ハ左ノ事件ヲ含ムモノトス

(a) 港内外国船舶内ニ發生スル混合刑事事件

(b) 租界境界外ニ在ルモ上海県及宝山県内ニ存スル工部局

道路ヲ含ム外国人財産上ニ發生スル混合刑事事件但シ右ハ前記道路ノ地位ニ関スル将来ノ交渉ヲ排除スヘキモノニ非ス

(c) 上海県及宝山県内ノ(租界)隣接地域ニ於テ發生スル混合民事事件

仏国租界及共同租界会審衙門ノ各管轄ハ一九〇二年六月二十八日ノ仮協定ノ規定通りトス

第一条第四項末文ノ「遲滞ナク」トハ条約ノ本章ニ準拠スルノ意味ニ解釈スヘキコト

第一条第三項及第四項ニ掲クル共同租界(章程付屬)細則ハ回收期日ニ於テ効力アル一切ノ細則ヲ含ムコト及将来ノ凡テノ細則ハ臨時法院ニ通告スル為ニ支那官憲ニ当然通知セラルヘキモノトス

第一条第五項ニ関シ非治外法権国人被告人ニシテ治外法権国人訴追者ナル刑事事件ハ臨時法院ニ於テ裁判セラルヘク法院ハ第三国ニ属スル一名ノ領事派遣官吏ニ対シ審理ヲ監視スル為裁判ニ出席スルコトヲ請求スヘキモノトス

他ノ支那法廷ニ於ケル裁判手續ニ出来得ル限り遵フ為第一条第六項「第五等ノ有期懲役以下ノ罪ニ該当スル事件ニ付

テハ上訴ヲ許ス」トノ規定ハ試ミニ会審衙門回收最初ノ一年間之ヲ実施セス右期間終了ノ際臨時法院ハ右規定ノ実施ノ可否ヲ決定スルノ權ヲ賦与セラルヘシ

十年又ハ十年以上ノ懲役ニ該当スル事件ニ付テハ臨時法院ハ之ヲ江蘇省政府ニ報告シ承認ヲ求ムヘキ旨ノ第二条ノ規定ハ会審衙門回收後最初ノ一年間ハ之ヲ實施セス右期間終了ノ際省政府ハ右規定實施ノ可否ヲ決定スヘシ

支那人間ノ民事事件ニシテ回收期日ニ於テ其ノ一部分ノ審問アリタルカ又ハ既ニ事件簿ニ登録セラレタルモノハ左ノ如ク処理セラルヘシ

(i) 外国弁護士カ当事者ノ一方又ハ他方ノ訴訟代理トシテ記録ニ登録セラレタルトキハ事件ハ特別事件簿ニ登録セラルヘク記録ニ其ノ氏名ヲ登載セル弁護士ハ回收期日ヨリ十二箇月ノ期間ヲ限リ右ノ事件ニ付第一審法廷ニ出廷ヲ許サルヘシ而シテ右事件ハ前記期間内ニ之ヲ終結セシムヘシ尤モ法院ハ事情止ムヲ得サル場合ニハ其ノ裁量ヲ以テ右期間ヲ延長スルコトヲ得

(ii) 記録ニ外国弁護士ノ名ヲ登載セサル事件ハ臨時法院ノ一般訴訟手續ニ從テ取扱ハルヘキコト

外国弁護士ハ前項ニ於テ出廷ヲ仮ニ許可セラレタル事件ノ  
外領事派遣ノ官吏カ支那推事ト同席スル一切ノ事件ニ付其  
第一審及上訴審ニ於テ何レノ当事者ノ為ニモ出廷スルコ  
トヲ許サルヘキコト尚外国弁護士ハ上海工部局カ訴追スル  
一切ノ事件ニ付及治外法権國人ヲ原告トシ非治外法権國人  
被告トスル一切ノ民事事件ニ付何レノ当事者ノ為ニモ出廷  
スルコトヲ許サルヘキモノトス

第七条文ニ関シ首席領事改訂ヲ提議セムトスルニ於テハ  
江蘇省政府ハ之ニ対シ同様条件ニ付スルコトアルヘシ

(付 記四)

昭和二年一月六日付在上海矢田總領事ヨリ幣原外務大臣宛機  
密第一二号信

会審衙門還付直後ニ於ケル法廷審理状況等報告ノ件

機密第一二号

(昭和二年一月十五日接受)

昭和二年一月六日

在上海

總領事 矢田 七太郎 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

会審衙門還付直後ニ於ケル狀況報告ノ件

本件ニ関シ田島副領事ヨリ別紙ノ通り報告アリタルヲ以テ

御参考迄送付ス

本信写送付先 北京

(別 紙)

昭和二年一月五日

田島 副領事

会審衙門還付直後ニ於ケル狀況報告

本年一月一日支那ニ還付シタル旧名会審衙門新名臨時法庭  
ニ主席領事委員 Senior Consul's Deputy ヲシテ出席ス  
ヘク該委員ニ任命サレタル日英米各二、伊一、和蘭一ノ八  
名ハ命ニ依リ Roster ヲ定ムル外還付ノ新事態ニ適合スヘ  
キ Deputy トシテ底意ヲ確定シ置クノ必要ナルヲ思ヒ本月  
三日午前九時半米國總領事館ニ全 Deputy 会合シタルカ還  
付ト共ニ支那裁判官ハ殆ト全部新トナリ居ルニ顧ミ先ツ此  
等裁判官ト接洽ノ上新法庭運行ニツキ彼我ニ意見ヲ交換シ  
置クノ必要ナルヲ感シ右接洽委員トシテ英領事 Martin 米  
領事 Bucknell 及田島副領事ノ三名推挙サレタリ右三名ハ  
同日午後三時新法庭ニ庭長ヲ訪ヒタルニ彼ハ新任裁判官三  
名ヲ從ヘテ右三名ト会見シタリ先方ハ回収勿々ニツキ当分  
ノ間ハ支那人民刑事事件ノミヲ処理シ外人關係民事ハ追

テ聞クコトニ又 Deputy ヲ要スル法庭ハ当分ノ間一日一回  
開廷ノ手筈ナレハ毎日一名ノ Deputy 出席アリタキ旨ヲ述  
ヘタルヲ以テ之ヲ諒承シタルカ談遇々法庭ニ於ケル Dep-  
uty ノ座スヘキ椅子ノ位置ニ及フヤ先方ハ支那裁判官ノ後  
側ニ在ルヘキヲ述ヘタリ先之本件椅子ノ位置ハ前記 Dep-  
uty 會議ニテ充分討議サレ其位置ハ裁判官ノソレト同列ナ  
ラサルヘカラス万一先方ニ於テ之ニ同意セサル場合ニハ各  
Deputy ハ其職務執行不可能ナル旨ヲ告ケテ退席スルト共  
ニ此旨主席領事ニ報告シ指令ヲ仰クヘキコトニ決定シ居タ  
ルヲ以テ右三名ハ到底先方ノ主張ハ容認シ難キ旨ヲ述ヘテ  
互ニ讓ラス已ムナク右三名ハ斯ク意見ノ不一致ヲ見タルハ  
頗ル遺憾ナリトテ辞去セントスルヤ何ヲ感シテカ支那側ハ  
然ラハ Under Protest ニテ Deputy 側希望ノ通り取計フヘ  
キ旨ヲ申出テ本問題ハ茲ニ落着セリ此ノ談論ハ主トシテ英  
米ニ領事之ニ當リ田島ハ支那側ヨリ意見ヲ問ハルレハ返答  
スルノ態度ニテ始終セリ然ル處新法庭ハ翌四日ヨリ職務ヲ  
執行スルコトナリ居リ且ツ Deputy ノ出席ヲ要スル法庭  
モアルコトナレハ不取敢右三名ニテ抽籤シタルニ田島引當  
テタリ依テ田島ハ四日第一次ノ Deputy トシテ當該公判ニ

出席シタルニ同法庭ハ判事謝(從來弁護士ヲ業トシ英國留  
學生ナリ)之ヲ掌リ右公判中田島ノ目撃セル事實並ニ印象  
ノ大要ハ(一)支那裁判官ハ法官服ヲ着用シ新法庭カ支那法庭  
ナルヲ特ニ顯著ニ周知セシムルニ努メ居レリ例ヘハ機會毎  
ニ從來ノ会審衙門ナラス支那法律ニヨリ合法成立セル支那  
法庭ナルヲ説キ或ハ租界警察官員カ英語ヲ使用スル場合裁  
判官ハ充分英語ニ通曉シ居リナカラ殊更ニ不知ヲ装ヒ一々  
支那語ニ翻訳セシムルカ如キ之レナリ(二)法令ノ根拠並ニ法  
ノ適用ニツキ非常ニ注意シ居レリ從來租界警察ノ起訴ハ多  
少不周倒ノ感アリシカ還付後モ亦同様ノ措置ニ出テタルヲ  
以テ起訴ノ不備ヲ理由ニ dismiss サレタルモノ少カラス之  
レ將來警察カ起訴スルニ當リ注意スルコトナルヘク好マ  
シキコトト思惟セラル(三)公判延期ノ場合ニ警察側ノ反対ア  
ルニ拘ハラス被告人ヲ容易ニ且ツ僅少ノ金額ヲ以テ保釈シ  
拘留シ置カス例ヘハ持兇器強盜 (Armed Robbery) 被告  
人ニ僅三十弗ヲ以テ保釈セルカ如シ田島ハ事件ノ性質ニ顧  
ミ被告人カ將來出頭セサルヘキヲ虞リ裁判官ニ之ヲ指摘シ  
タルニ裁判官ハ警察ニ於テ出頭セシムル措置ヲ執ルヘケレ  
ハ心配ナカルヘシト答ヘタルヲ以テ田島ハ如何ニシテ警察

カ之ヲナシ得ルヤト反問シタルニ答ヘサリキ裁判官ノ此種態度ハ如何ナル見解動機ニ出テタルヤハ別トシ此ノ儘ニ此ノ態度ヲ持續センカ悪性支那人ノ跳梁トナリ其ノ害ヲ第一ニ被ムルハ支那人自身ナルヘク從テ何レ其ノ内其ノ態度ヲ變更スルニ到ルヘシト思惟セラル等ナリ而シテ閉庭後判事謝ハ田島ニ向ヒ極ク内密ノ相談ナリトテ将来日本人關係民刑事事件開審ノ際ニハ返リ回収ニ関スル取極書ニ jointly bear トアルモ同時ニ条約ニ依ルト明記シアレハ日本カ最近支那ニ対シ常ニ同情ヲ表シ吳レ居ルニ顧ミ單ニ watch スルニ留メラレタシ幸ニ同意セラルルニ於テハ其旨廣告スルト共ニ和蘭西班牙等ノ諸國ヲ之ニ倣ハシメ最後ニ英米ヲ

強要スル考ヘナリト説キ出シタルヲ以テ田島ハ自分ハ取極書等ニ準拠シテ公判ニ参与スル以上何等權限ナシト答ヘ結局矢田總領事ニ其意ヲ伝フルコトトシテ分レタリ右ハ談話ノ一片ニ過キササルモ如何ニ彼等カ名実トモニ回収ニアセリツツアルヲ察知サレ且ツ条約規定ヲ楯ニ將來問題發生スルノ虞アルヲ予感セシム因ニ判事謝ハ英國留學生ニシテ Barrister of Law ノ地位ヲ有シ且ツ英婦人ヲ妻トナシ居ルモ中々ノ反英主義者ノ一人ナル由ナルカ今回ノ回収ニ当リテハ丁文江ノ顧問タルト共ニ Joint Commissioner ノ一人ナリ從テ判事中最モ新法庭事情ニ通シ居リ事実上新法庭運行ノ Driving Force ヲ掌握シ居ルモノノ如シ

## 事項八 国民政府ノ関稅付加稅實施ヲ繞ル諸問題

八七九 九月二十日

在広東清水總領事代理ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

広東政府ヨリ広東英總領事二十日限り対  
英ポイコット中止、二分五厘ノ生産付加稅徵  
收ノ旨通知アリタル件

第一一七号

(九月二十一日接受)

英國總領事ノ談ニ依レハ広東外交部長ヨリ同總領事ニ対シ政府ハ十月十日限リ対英罷工ヲ止メサセルコトトセルニ付其ノ時ハ輸入品ニ付テハ普通品ニハ二分五厘奢侈品ニハ五分ノ付加稅又輸出品ニ付テハ生産付加稅(稅率ヲ示サス)ノ徵收ヲ承認セラレタキ旨ノ突飛ナル提議ヲ為シ来リ同總領事ハ其儘之ヲ北京ニ移牒シタル由ナリ  
北京へ転電セリ

八八〇 九月二十三日

在中国堀臨時代理公使ヨリ  
幣原外務大臣宛(電報)

国民政府ノ対英二分五厘付加稅實施、ポイコ  
ット中止ノ通告ニ関シ英公使館側ノ情報等報  
告ノ件

八 国民政府ノ関稅付加稅實施ヲ繞ル諸問題 八七九 八八〇

第六一〇号

(九月二十四日接受)

二十一日広東發大臣宛電報第一一七号ニ関シ

(一)九月二十二日英國公使館ニ就キ尋ネタル処本件広東政府ノ英國總領事宛通告ハ本月十八日付ニシテ(一)十月十日限リ「ポイコット」ヲ阻止シ通商ノ恢復ヲ行フ意向ナルコト及(二)所謂偵察隊ノ解散費等調達ノ為メ今後広東輸入ノ普通品ニ対シ二分五厘奢侈品ニ対シ五分ノ消費稅ヲ課シ又輸出品ニ対シテハ二分五厘ノ生産稅ヲ課スル意向ナルコトヲ通知セルモノナリ右課稅品ハ goods of all nationalities ヲ意味スルモノナリトノコトナリ尚ホ右徵稅ノ方法ハ海關ヲ barrier トシテ別ニ広東政府ノ任命スル官吏ニ依リテ徵稅スルモノノ如シ右ハ固ヨリ広東政府ノ一方的決定ノ通告ニテ承認ヲ求メ来リタルモノニ非ス尚ホ本件ハ英國ノミナラス各国共通ノ問題ナルニ付特ニ日英米三国政府間ニ充分協議ヲ為スヘキ事柄ト思考セラルトノコトナリ

(二)本件ニ関シ英國公使館側ハ事態ヲ重要視シ対策研究中ノ